

コープネット飼料用米生産流通協議会より 「いわての学び希望基金」に35万円を寄付

コープネット事業連合（本部：埼玉県さいたま市、理事長：赤松 光、会員生協：関東信越の6生協）をはじめとする企業・団体で構成するコープネット飼料用米生産流通協議会^{*1}（事務局：岩手県花巻市、会長：阿部 勝昭）は、東日本大震災で被災した岩手県の小中高生を支援するために設立された「いわての学び希望基金」^{*2}に35万円を寄付いたします。6月30日に岩手県庁（岩手県盛岡市）で寄付金贈呈式が開催されます。

コープネット飼料用米生産流通協議会は、コープネットの産直提携事業の一環として、国産飼料活用による自給率向上への貢献、生産者と消費者が協同する「産直事業」、「耕畜連携」の推進、休耕田の有効利用などを目的に2008年に設立しました。国産飼料用米を給餌した産直豚肉『お米育ち豚』の生産事業を共同で進め、コープネットの会員生協で2009年より販売しています。このたびの「いわての学び希望基金」への寄付金には、本年3月に会員生協158店舗で実施した東日本大震災復興支援セールでの『お米育ち豚』の販売額の一部が含まれています。

コープネットは今後も、「日本を、食卓から元気にしたい。」をメッセージとした、食と食料生産にかかわる取り組みを推進するとともに、被災者支援・被災地復興支援の取り組みを継続し、暮らしをとともにする、すべての人々を元気にする活動を進めてまいります。

- ※1 構成企業・団体：生活協同組合連合会コープネット事業連合、花巻農業協同組合、有限会社ありす畜産、JA全農北日本くみあい飼料株式会社、株式会社岩手畜産流通センター、JA全農ミートフーズ株式会社、全国農業協同組合連合会岩手県本部
- ※2 震災により親を失った子どもたちや、厳しい経済状況に置かれた子どもたちに対し、社会人として独り立ちするまでの長期間に渡った支援を行うことを目的に、岩手県で2011年6月に創設された制度。

《生活協同組合連合会コープネット事業連合 概要》

- 【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13
【理事長】 赤松 光（あかまつ ひかる）
【会員生協】 コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープにいがた
【総事業高】 4,992億円（会員生協事業高計） ※2013年度
【組合員数】 426万人（会員生協組合員計） ※2014年5月20日現在
【ホームページ】 <http://www.coopnet.jp/>